

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム たいよう作成日: 平成 29 年 9 月 24 日

## 目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議を定期的で開催しているが、参加委員が固定化し、報告会が中心になっているので、会議の運営や議題について検討し、参加委員にとっても知識や情報を得る会議として、有意義な会議にしていく。	参加委員を有識者、知見者、複数の民生委員、薬剤師等から参加を募り、会議の活性化を図り、ホームの発展だけでなく、地域の中で話し合い、地域貢献ができる体制を整えていく。また、家族が参加しやすい時間を設定し、家族と話し合える環境を整えていく。	12ヶ月
2	15	職員を育てる取り組み	ベテラン職員が中心に頑張っているが、利用者一人ひとりに合わせた介護の在り方を検討し、誰が介護しても、同じようなレベルの介護技術を確立し、利用者の明るい笑顔に繋がる、介護の実践を目指す。	介護歴の短い男性職員が多いので、外部の研修会に職員の介護力や習熟度に合わせて、交代で参加してもらい、内部研修会の中で職員に報告し、職員が知識を共有し、介護力の向上を図り、職員一人ひとりの意識の高揚に取り組んでいく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。